

溶連菌と言われたら お薬を最後まで飲みきりましょう

溶連菌（A群溶血性レンサ球菌）は、のどに感染して熱やのどの痛みを起こす細菌です。5～15歳の子どもの多く、冬と、春から初夏にかけて流行します。抗菌薬（抗生物質）でしっかり治せる病気です。

どんな症状が出るの？

① 急な熱と、のどの痛み

のどが真っ赤にはれ、つばを飲みこむのも痛がります。

② 舌がいちごのようにぶつぶつ

「いちご舌」と呼ばれます。熱が出て数日してから目立つこともあります。

③ 細かい赤い発疹

首・胸・わきの下などに出て、かゆがることがあります。治るころに指先の皮がむけることもあります。

④ おなかの痛み・吐き気

頭痛や腹痛、吐き気をともなうことがあります。

※せきや鼻水が少ないのが特徴です。3歳未満では、典型的な症状がそろわないこともあります。

どうやってうつるの？

せきやくしゃみのしぶき（飛沫感染）や、菌がついた手やおもちゃを介して（接触感染）うつります。うつってから**2～5日**ほどで症状が出ます。家族、とくにきょうだいの中でうつりやすい病気です。

家族にうつさないために

- 石けんでの手洗いと、せきエチケットを心がけましょう。
- タオルやコップ、食器の共用はさけましょう。
- きょうだいやご家族に**熱やのどの痛みが出たら、早めに受診**してください。

お薬は、決められた日数をすべて飲みきる

抗菌薬を飲むと、1～2日で熱が下がり元気になります。でも、のどに菌が残っていると、ぶり返したり、あとで腎臓などの病気（合併症）を起こしたりすることがあります。**元気になっても、処方された日数（10日間など）を最後まで飲みきってください。**

登校・登園の目安

学校（小学校など）

お薬を飲みはじめて24時間たってから
熱が下がり、元気があれば登校できます。

保育園・幼稚園

お薬を飲みはじめて24～48時間たってから
全身の状態がよければ登園できます。登園届が必要な園もあります。

治ったあとも、2～3週間は様子を見て

まれに、溶連菌にかかって1～3週間ほどたってから、次のような病気が起こることがあります。

- 急性糸球体腎炎：まぶたや顔のむくみ、コーラのような茶色っぽいおしっこ、おしっこの量が減る
- リウマチ熱：熱が出て、ひざや足首などの関節がはれて痛む（今ではとてもまれです）

当院では、腎炎が起きていないか確かめるため、3週間後に検尿をします。

こんなときは、すぐに受診してください

- お薬を飲んで2日たっても熱が下がらない
- のどが痛くて水分がとれない
- ぐったりしている、顔色が悪い
- むくみや、おしっこの色の変化がある

かつらがわキッズクリニック

ご心配なことはお気軽にご相談ください

075-874-4381

〒601-8601 京都市南区久世高田町376-1

イオンモール京都桂川 1階 メディモ内

監修：かつらがわキッズクリニック 院長 後藤高弘（2026年10月作成）

参考：日本学校保健会「学校において予防すべき感染症の解説」／こども家庭庁「保育所における感染症対策ガイドライン」

